

## (8) 中国



中国地域では、景気は緩やかに持ち直している。

- ・ 鉱工業生産はおおむね横ばいとなっている。
- ・ 個人消費は緩やかに増加している。
- ・ 雇用情勢は持ち直している。

(注) 下線を付した箇所は、前回からの変更のあった箇所を表す( \_ は上方に変更、\_ は下方に変更)

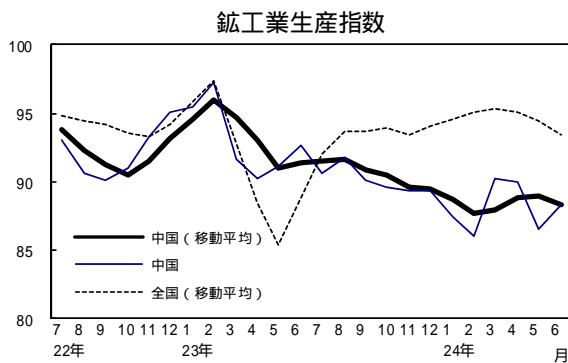
### 前回調査からの主要変更点

なし。

### 1. 生産及び企業動向

(1) 鉱工業生産はおおむね横ばいとなっている。

鉄鋼は、自動車向けの品目が好調なため増加している。化学は、工場が事故による停止から復旧したことやパラキシレンを生産する工場の定期修理が終了したことなどから増加している。輸送機械は、人気車種の販売が好調なことから増加している。一般機械は、海外向けの大型プレス用金型や発電所向けのボイラ部品等が好調だったことから増加している。電子部品・デバイス、スマートフォン向け部品の生産が不調なことから、減少している。



(備考) 1. 17年=100、季節調整値。中国の最新月は速報値。

2. 全国及び中国の太線は後方3か月移動平均。

域内主要業種の動向(季節調整値、前期比) (%)

	付加価値 ウェイト	生産		出荷	在庫
		1~3 月期	4~6 月期	4~6 月期	4~6 月期
鉄鋼	16.5	4.0	4.6	7.8	1.7
化学	16.1	5.8	1.0	0.2	7.1
輸送機械	14.8	0.9	0.6	0.4	2.0
一般機械	10.7	11.1	3.3	4.2	4.4
電子部品・デバイス	7.3	2.9	11.2	16.5	-
鉱工業	100.0	1.6	0.3	1.2	4.8

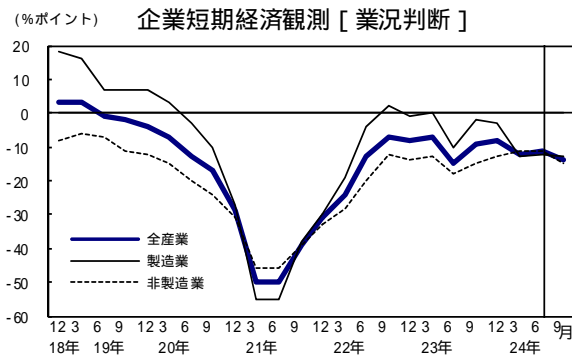
(備考) 1. 地域における付加価値ウェイトの高い15業種。

2. 4~6月期は速報値。

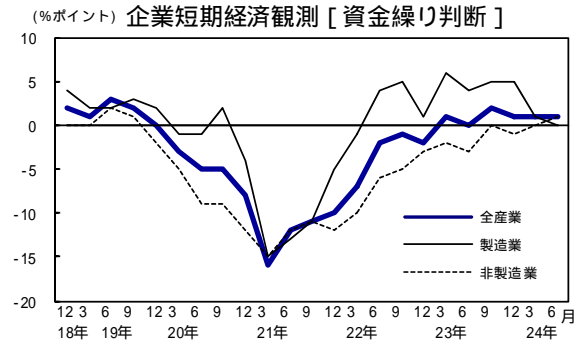
3. 電子部品・デバイスの在庫指数は公表されていない。

(2) 企業動向の業況判断は「悪い」超幅が、資金繰り判断は「楽である」超幅がそれぞれ横ばいとなっている。

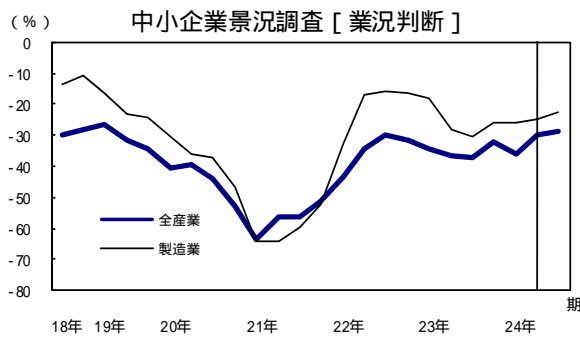
企業短期経済観測調査及び中小企業景況調査



(備考)「良い」-「悪い」回答者数構成比。24年9月は予測。  
18年12月および21年12月は新・旧基準を併記。



(備考)「楽である」-「苦しい」回答者数構成比。  
18年12月および21年12月は新・旧基準を併記。



(備考)「好転」-「悪化」回答者数構成比。24年 期は見通し。

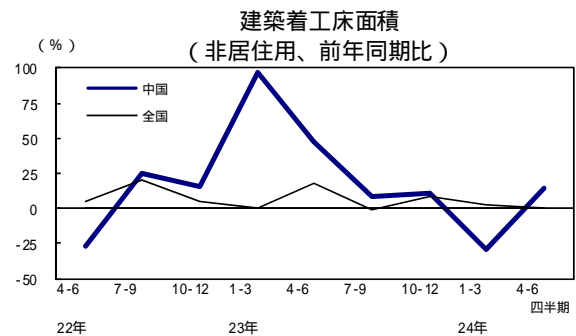
景気ウォッチャー調査(7月)[企業動向関連(現状)]  
「円高、エネルギー問題等、輸出品の競争力のマイナス要因が多い(化学工業)」など「変わらない」とする回答が多くみられた。

(3) 24年度の設備投資は前年度を下回る計画となっている。

企業短期経済観測調査 [設備投資(6月調査)]

	(前年度比、%)	
	23年度実績	24年度計画
全産業	0.4 ( 1.3)	4.0 ( 7.8)
製造業	1.0 ( 0.8)	6.1 ( 9.0)
非製造業	0.8 ( 4.9)	0.5 ( 5.6)

(備考)( )は前回(3月)調査比修正率。



## 2. 需要の動向

(1) 個人消費は緩やかに増加している。

### 大型小売店販売額

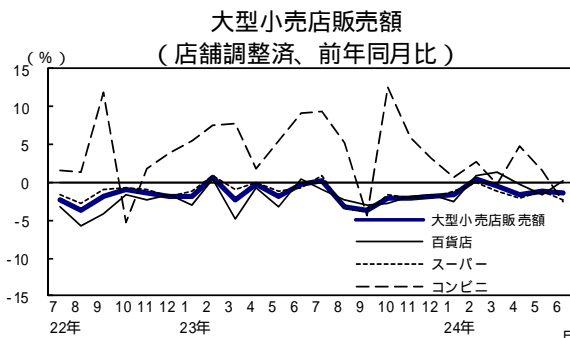
大型小売店販売額は、前年同期比で1.4%減、前期比で1.4%減となった。

百貨店は、4月は、飲食料品は一部の催事が好調だったものの、青果の動きが鈍いなど全体的に低調だったことから前年比低下幅は拡大した。5月は、宝飾品、絵画など高額品に良い動きがみられたことから前年比低下幅は縮小した。6月は、美術品や宝飾品など高額品は前年を上回ったが、カジュアル衣料など紳士服の動きが鈍かったことから前年比低下幅は拡大した。

スーパーは、夏物衣料が低調で、震災特需の反動減やアナログ停波関連商品の反動減もみられたことから、前年比低下幅は拡大した。

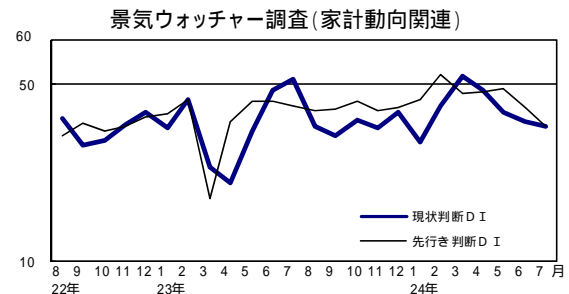
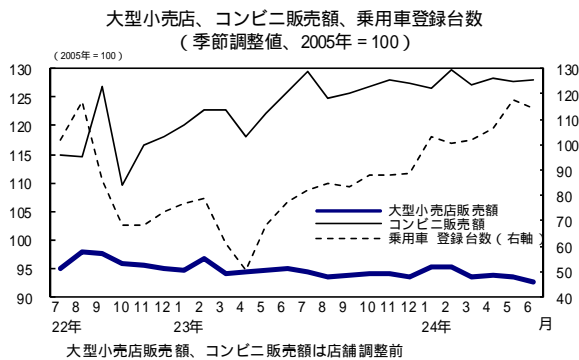
### 景気ウォッチャー調査(7月)[家計動向関連(現状)]

「クリアランスセールスタートがブランドによって月初からと半ばからとで異なったため、客が分散し、売上も前年から6%の低下と厳しい結果となっている(百貨店)」など、「変わらない」とする回答が多くみられた。



	23年7-9月	10-12月	24年1-3月	4-6月
大型小売店(*1)	2.1	1.9	0.6	1.4
百貨店(*1)	2.0	2.0	0.2	0.5
スーパー(*1)	2.2	1.9	0.8	1.8
大型小売店(*2)	2.2	1.4	0.3	1.2
(季節調整値)(*3)	( 0.8)	(0.0)	(0.8)	( 1.4)
乗用車(*4)	16.2	26.0	44.5	68.6
(季節調整値)(*4)	(27.4)	(6.0)	(15.4)	(10.7)

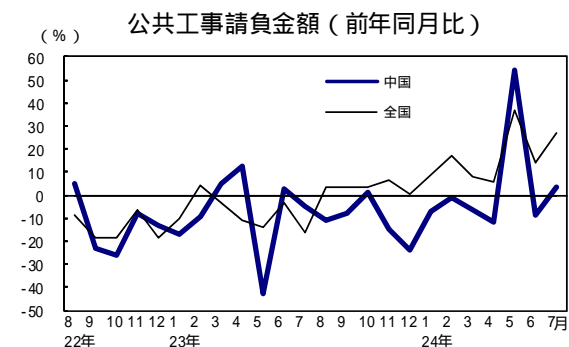
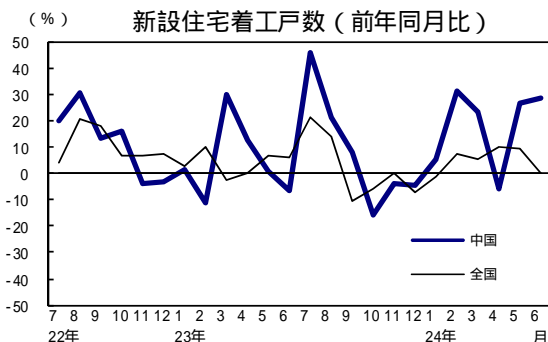
(備考) 1.店舗調整済、前年同期比(%) 3.店舗調整前、前期比(%)  
2.店舗調整前、前年同期比(%) 4.乗用車は新規登録・届出台数  
(上段：前年同期比、下段：前期比、%)



(2) 住宅建設は大幅に増加している。

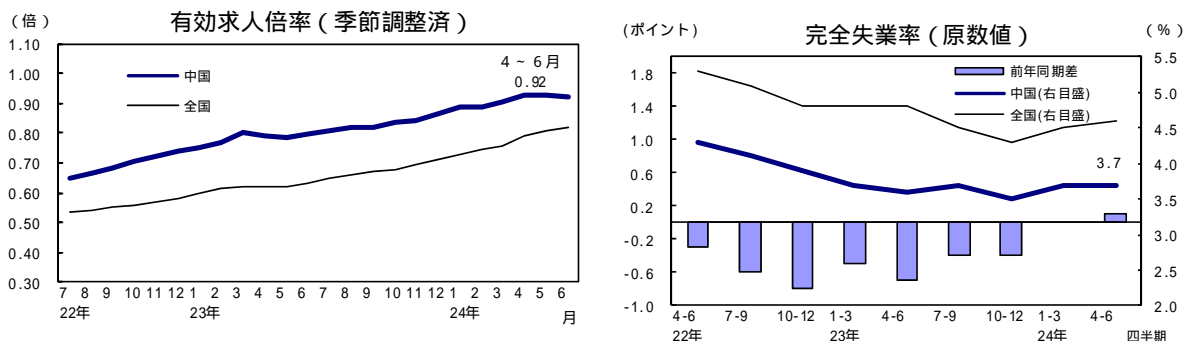
持家、貸家、分譲で前年を上回ったことから、全体でも大幅に増加している。

(3) 公共投資は24年度累計で見ると前年度とほぼ同水準となっている。



### 3. 雇用情勢等

- (1) 雇用情勢は持ち直している。  
 有効求人倍率及び完全失業率  
 有効求人倍率は上昇している。完全失業率は前年同期とほぼ同水準となっている。



#### 景気ウォッチャー調査 (7月) [雇用関連 (現状)]

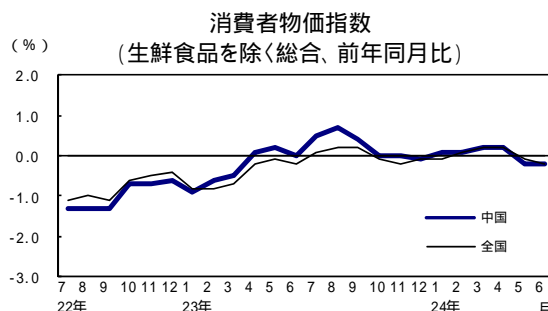
「求人広告は新規開業に伴うアルバイト、パートくらいで相変わらず鈍く、主要な地場企業の多くは来年度の新規採用試験を終えたが、採用数を増やした事業所はわずかである。今年採用を見送ったので来年はとりあえず退職者補充程度に少人数採用しておくところが目立つ (新聞社 [求人広告])」など「変わらない」とする回答が多くみられた。

- (2) 企業倒産は、件数、負債総額ともに減少している。

- (3) 消費者物価指数はおおむね横ばいとなっている。

#### 企業倒産

	(件、億円、%)				
	23年7-9月	10-12月	24年1-3月	4-6月	24年7月
倒産件数	133	143	130	117	49
(前年比)	20.9	50.5	14.0	9.3	4.3
負債総額	202	158	197	242	99
(前年比)	4.9	6.7	92.5	67.6	34.2



#### 景気ウォッチャー調査 (7月) [合計 (特徴的な判断理由)]

<現状>

- ・大河ドラマが当地ゆかりの時代になり来客数が増加している (その他専門店 [和菓子])

<先行き>

- ・荒天により各地に被害が出ている状況から、この先生鮮食料品の価格が高騰すると予想される (スーパー)

